

2018 年度

研究センターの開設を記念して HbpMS (Health business, policy and Management Studies) セミナーを5回にわたって開催

本記念セミナーでは、現在わが国が迎えている本格的な人口減少・高齢化時代に対応すべく国が示す医療介護総合確保推進の重要課題のひとつである地域包括ケアシステムの構築なるものが「経営の眼」にはどのように映るかを問う試みでした。そしてこの学びの機会を本研究センターの使命とする「医療介護総合確保推進のための制度政策や事業経営のマネジメント人材養成の研究と実践」の端緒にしようという趣旨で企画いたしました。

1 医療介護総合確保の中核、地域包括ケアシステムのマネジメントを考える | 2018年 5月12日

記念講演「地域包括ケア・マインドの医師の育成は急務!!」

岩崎 榮 (卒後臨床研修評価機構専務理事、日本医科大学名誉教授)

パネルディスカッション「地域包括ケアのマネジメント」

神田 裕二、横山 禎徳、西田 在賢 (ファシリテーター)

広島県庁講堂にて広島県知事ご来席のもと 200 余名が集った



2 診療・介護の報酬同時改定と医療経営の動向 | 2018年 8月26日

特別講義①「同時改定にみる医療制度革と医療・介護連携」

神田 裕二 (元厚生労働省医政局長、元医薬食品局長)

特別講義②「今般の同時改定から見える今後」

仲野 豊 (仲野メディカルオフィス代表)

本学広島キャンパス大講義室にて広島県医師会会長ご来席のもと 60 余名が集った



3 薬局経営の原理を考える | 2018年 9月8日

特別講義①「薬局ビジョンが唱える薬局の役割」

神田 裕二 (元厚生労働省医政局長、元医薬食品局長)

特別講義②「薬局の存在意義と薬局経営」

遠藤 邦夫 (矢野経済研究所主席研究員)

広島県薬剤師会館にて広島県健康福祉局長、広島県薬剤師会会長ご来席のもと 40 余名が集った



4 地域包括ケアシステムと情報技術支援 | 2018年 12月16日

基調講演「地域包括ケアシステムの経営人材養成の必要」西田 在賢

特別講演①「地域包括ケアシステムにおける原点と評価システムの展開」山口 昇 (公立みつぎ総合病院名誉院長)

②「医療・介護のITネットワーク型連携情報システムの取組み」

岡 慎一郎 (静岡県医師会理事)、久保田 徹 (SBS情報システム顧問)

広島駅近辺の会議室にて広島県病院事業管理者、広島県看護協会会長ほかのご来席のもと 80 余名が集った



5 ヘルス・ビジネス・アンド・マネジメントを考える | 2019年 3月3日

基調講演「医療介護の経営人材養成について」西田 在賢

特別講演 1. 「少子高齢化に対応する病院運営を目指して」

座長：浅原 利正 (広島県病院事業管理者、元広島大学学長)

講師：迫井 正深 (厚生労働省大臣官房審議官)

特別講演 2. 「社会システムデザイン論が説く日本の医療システムの改革と経営」

座長：土肥 博雄 (広島赤十字・原爆病院名誉院長、広島大学医学部広仁会会長)

講師：横山 禎徳 (HBMS 研究科長、元マッキンゼー東京支社社長)

広島大学医学部同窓会と広島商工会議所の後援を得て、日本赤十字社中四国ブロック血液センター研修室にて広島県副知事ほかのご来席のもと広島県内の医学・医療機関や経済界関係者 150 余名が集った



セミナーレポートの詳細はこちらをご覧ください
mba.pu-hiroshima.ac.jp/ja/forpublic/project/hbpms

